

# 講演会

# 交通権からみた「ミニ新幹線」の 四半世紀と高速鉄道の未来

## 奥羽・羽越新幹線ルートイメージ

### 奥羽新幹線

【福島市～山形市～秋田市】

フル規格新幹線が実現すれば

東京 ← 米沢 約1時間30分

東京 ← 山形 1時間台

東京 ← 新庄 約2時間30分

### 羽越新幹線

【富山市～新潟市～秋田市～青森市】

フル規格新幹線が実現すれば

東京 ← 酒田 約2時間40分

今こそ、実現の時！



山形新幹線が「ミニ新幹線」として1992年に開通してから26年。いま山形では全県をあげて「フル規格新幹線」を要望しています（左図は「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」ウェブサイト <http://www.ou-uetsu-shinkansen.jp/> より）。しかしその前には、米沢～福島間の板谷峠<sup>いたやとうげ</sup>に新たに通す全長23kmのトンネルの工事費（JRは1600億円と試算）がたちはだかっています。また、フル規格化後の在来線（奥羽線）がどうなるかも気になるところです。

今回の講演会は、峠と鉄道の交通史に詳しい栗野宏さん（山形大学工学部助教）をお招きして、山形に必要な交通網と高速鉄道について考える機会とします。また栗野さんは昨年12月初旬に沖縄で日本科学者会議が「平和で持続可能な社会を」をテーマに開催した「第22回総合学術研究集会（22総学）」にも参加されてきましたので、その様子も報告していただきます。関心のある方はぜひおいでください。

なお開催場所の中央公民館においでの際は、周辺の有料駐車場や「ベニちゃんバス」などをご利用ください（済生館前地下<sup>さいせいがん</sup>の駐輪場は無料です）。

とき：3月23日（土）13時～14時半

ところ：山形市中央公民館（アズ七日町）研修室3（入場無料）

主催：日本科学者会議（<http://www.jsa.gr.jp/>）山形支部  
<https://jsayamagata.wordpress.com/>

※フル規格化についての栗野さんのインタビュー記事が2月3日付の朝日新聞（山形版）に掲載されています（<http://www.asahi.com/area/yamagata/articles/MTW20190204060240001.html>）。

日本科学者会議は日本の科学の自主的・総合的な発展と科学者としての社会的責任を遂行するための共同組織です。理系文系問わず研究分野を超えた学会の性格ももっています。会場責任者：松本邦彦（山形大学人文社会科学部／電話 023-628-4250（研究室））